

第4号様式(第4条関係)

記載例

指定失効等に伴う覚醒剤原料処分願出書

指定失効等に伴う覚醒剤原料の処分について、覚醒剤取締法第30条の15第3項の規定により、願い出ます。

年 月 日

届出年月日を記載

住 所 新宿区新宿五丁目18番21号  
届出義務者 続柄  
氏 名 株式会社〇〇医薬品  
代表取締役 新宿 花子

新宿区保健所長 宛て

業 態	薬局	
業 務 所	所 在 地	新宿区新宿五丁目18番21号
	名 称	〇〇薬局
品 名		数 量
エフピー錠2.5mg		50錠
届出の事由及びその事由の発生年月日	譲渡先の都合により譲渡が出来なくなったため。 令和〇〇年〇〇月〇〇日	

備考

- 1 字は、墨又はインクを用い、楷書ではっきり書くこと。
- 2 法人の場合は住所の欄には主たる事務所の所在地をの氏名を記載すること。
- 3 業態欄には、業務廃止等前の業態(病院、診療所、飼育動物診療施設又は薬局の別)を記載すること。
- 4 業務所欄には、業務廃止等前のものを記載すること。

廃止後 30 日以内に譲渡できなかった理由および廃止後 30 日経過した年月日を記載してください。